

承諾書

親知らずの抜歯について

1. 術後の痛みのピークは、1～2日後です。腫れは、痛みから遅れて2～3日後がピークです。鎮痛剤、抗生剤を処方いたします。
2. 抜歯後にブクブクうがいは、絶対に避けて下さい。出血が止まらなくなり、かさぶたが出来にくくなり、また骨が露出するドライソケットという状態で痛みが出ます。
3. 抜歯後口が開きにくく、頬の皮膚が内出血斑で、紫色から黄色に変色しますが、時間経過とともに、色は消退しますので、心配はいりません。
4. 抜歯した歯の隣の歯が、しみたり、咬むと痛んだりしますが、時間経過とともに、痛みはよくなります。稀に、歯の神経の治療が必要な場合があります。
5. 下顎親知らずの抜歯の場合、手術した側の唇や歯肉、知覚異常（しびれ）が出現する可能性があります。また、稀に舌の知覚異常や味覚異常が出現する可能性があります。一度出現した場合は、長期にわたる（約3か月～1年）治療が必要になり、専門の大学病院や麻酔科へご紹介での治療が必要になる場合があります。
6. 上顎親知らずの抜歯の場合、歯根と鼻の副鼻腔（上顎洞）が近接し、一時的に水や空気が交通し、鼻血が少量出ることがあります。時間経過とともに、感染がなければ閉鎖していきますので問題はないです。
7. 抜歯後に出血が止まらない場合は、再来院していただき、止血剤を挿入する可能性があります。
8. 抜歯後に、風邪や免疫が低下した場合は、感染が起きる可能性があります。その際は、消炎手術が必要になる可能性があります。
9. 親知らずの抜歯の前後2週間は、ワクチン注射の予定は避けて下さい。
10. 薬の副作用で、お腹が緩くなったり、発疹が出る可能性があります。

以上の説明を受け、内容に同意します。

竹ノ塚ヨシダ歯科・口腔外科 YOSHIDA DENTAL CLINIC

年 月 日

患者氏名

同席者